

2020年に向けた国産バイオジェット・ディーゼル燃料の実用化計画が  
横浜市「企業立地促進条例」の対象事業に認定されました

株式会社ユーグレナ

株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、社長：出雲充）は、当社が進める国産バイオジェット・ディーゼル燃料の実用化計画が、横浜市「横浜市企業立地等促進特定地域における支援措置に関する条例（企業立地促進条例）」の対象事業に認定されたことをお知らせします。

当社は、2015年12月1日付で、2020年に向けた国産バイオジェット・ディーゼル燃料の実用化計画（以下、「国産バイオ燃料計画」）を発表し、神奈川県横浜市鶴見区の旭硝子株式会社の京浜工場内にてバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラント（以下、「バイオ燃料製造実証プラント」）の新設を計画しています。今回、バイオ燃料製造実証プラントの新設計画が「企業立地促進条例」の対象事業に認定されたことで、家屋・設備への投資額に対する補助金（対象となる投資額の12%）および固定資産税・都市計画税の軽減といった支援を受ける予定です。

詳細は以下の通りです。

横浜市の「企業立地促進条例」に認定された事業計画について

- 事業所（新設）：バイオ燃料製造実証プラント（仮称）
- 立地場所：神奈川県横浜市鶴見区末広町1丁目1（旭硝子株式会社 京浜工場内）
- 事業目的：微細藻類脂質や非可食性植物脂質等の国内原料を使用したバイオ燃料製造の実証を行うとともに、商業プラント実現に必要な技術ノウハウ等の取得に努め、日本初のバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントの稼動およびバイオジェット・ディーゼル燃料の実用化を目指す。
- 企業立地等促進特定地域における支援制度（企業立地促進条例・固定資産取得時）について：  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/yuchi/support/tokuteitiiki.html>

ユーグレナ社は、様々なパートナーや関係各所からの協力のもと、2020年迄のバイオジェット・ディーゼル燃料の実用化に向けて、引き続き「国産バイオ燃料計画」を推進します。

以上